

# 2024 年度 日本海・瀬戸内海・太平洋縦断 技術士会 in 島根

## —技術士の力で地域の魅力を引き出す—



西部技術コンサルタント（株）

中村 淳二 建設／総合技術監理部門

### 1. 開催概要

日本海・瀬戸内海・太平洋縦断技術士会の例会・情報交換会として、島根県技術士会の主催により、「2024 年度 日本海・瀬戸内海・太平洋縦断技術士会 in 島根」が島根県出雲市にて開催されました。

開催テーマは『技術士の力で地域の魅力を引き出す』でした。開催テーマに対する各県支部（鳥取支部、岡山県支部、高知県支部）および各県技術士会（島根県技術士会、香川県技術士会）の取組み報告として、各県より発表を行いました。また、今回は、第二部として神門通りまちづくり視察ツアーとして会場を飛び出し、観光客で賑わう出雲大社前の参道を解説を聞きながら視察しました。

その後、会場を出雲市駅前の「ベル・ブラージュ」に移し、レセプションパーティーが開催されました。

神在月ということもあり、翌日 10 日に全国の八百万神が集まるための神事やお迎えの準備で忙しい出雲大社に滑り込みで参拝でき、とても思い出深い例会となりました。

- ・日時：2024 年 11 月 9 日（土） 13：00～
- ・場所：大社文化プレイスうらら前 ごえんホール（出雲市）
- ・テーマ：『技術士の力で地域の魅力を引き出す』
  - ・主催：島根県技術士会
- ・次第
  1. 開会挨拶 島根県技術士会会長 石田 弘至 様
  2. 来賓挨拶 出雲市役所 都市建設部長 三代 正幸様
  3. 各県技術士による研究・活動発表
    - ・島根県技術士会：「地域に残る『出雲流庭園』」 木佐 幸佳 様
    - ・鳥取県支部：「地域の神社復興に向けた取り組み」 山口 健二 様
    - ・岡山県支部：「ゆるやかにつながる女性技術士のとりくみ in 岡山」 小野 朋子 様
    - ・香川県技術士会：「脱炭素で地域の魅力を引き出す」 西田 圭志 様
    - ・高知県支部：「自然公園内施設の劣化診断における技術士の視点」 下村 昭司 様
  4. 次回開催案内 岡山県にて開催
  5. 神門通りまちづくり視察ツアー 案内人 西村 成人 様
  6. レセプションパーティー（ベル・ブラージュ）

## 2. 各県技術士による研究・活動発表

- ・島根県技術士会：Kプラン 木佐様より出雲流庭園についての紹介。枯山水、石灯籠、主木がクロマツといった特徴がある。地道に活動を続けており、先日はNHKの取材により、全国放送されるなど研究が実を結んでいる。
- ・鳥取県支部：鵬技術コンサルタント（株） 山口様より、ご自身が理事を務める波波伎神社の復興に向けた活動についての紹介。神社を取り巻く課題を明確にし、様々な解決策について取り組んでいる。
- ・岡山県支部：(株)エイチ・エス・ピー 小野様より岡山県支部における女性技術士の取り組みの紹介。おかやま女性技術者交流会や岡山理科大学での取り組みなど女性技術者を目指す人達を応援している。技術士の女性比率 20%を目指す。
- ・香川県技術士会：(株)四電技術コンサルタント 西田様より地球温暖化に対する脱炭素の活動の一環としての地方自治体支援の紹介。施策の選定には、地域の課題解決につながり、コベネフィットが見込まれることを考慮している。
- ・高知県支部：(株)ワタリコンサルタント 下村様より海中展望塔の劣化診断を通して見えてきた全国の海中展望塔の現状と課題の紹介。全国に7基あり、老朽化や集客力の低下が顕在化している。国立公園内に位置していることも課題。

## 3. 神門通りまちづくり視察ツアー

続いて、出雲大社の参道でもある神門通りを視察した。毎年開催される出雲駅伝で、スタートと同時に勢いよく坂を下っていくあの通りである。両側に店舗が軒を連ね、用地の制約上、所定の幅員が確保できないことが課題であった。関係者を交えたワークショップや社会実験などを経て、シェアドスペース（共有空間）による歩車共存道路を実現している。

実際歩いてみてわかったが、人が混雑していても車道側にはみ出して歩きやすく、車も対向が難しい時は、人がいない歩道側にはみ出して走っている。本来は危険な状態であるが、人と車の専用意識を排除したことで、譲り合いの気持ちが芽生え、車の平均走行速度も低下し、安全が確保されているそうである。土地柄ということもあるが、一つの解決策として参考となった。

なお、写真の白線は、実は石でできており、石畳と相まって、とても歩いて気持ちいい通りであった。



写真1 改築された神門通り



写真2 視察状況